令和5年度後学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果

I 講義・演習科目

質問・回答（特に記載がない場合は 5:強く思う, 4:そう思う, 3:どちらとも言えない, 2:そう思わない, 1:全く思わない） ◇受講した授業科目に関して、質問1～5は授業全体及び教員について、質問6～10は自分自身についての評価項目となります。	後学期前半科目				後学期後半科目				後学期科目				スプリングセッション科目			
	専門		一般		専門		一般		専門		一般		専門		一般	
	建築	総合	総合	共基	建築	総合	総合	共基	建築	総合	総合	共基	建築	総合	総合	共基
Q1 授業はシラバスに沿って行われましたか。	—	4.8	—	—	—	4.0	—	—	4.3	4.3	4.3	4.3	—	5.0	5.0	5.0
Q2 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	4.8	—	—	—	4.0	—	—	4.1	4.2	4.3	4.3	—	5.0	5.0	5.0
Q3 講義動画・資料は、適切でしたか。	—	4.8	—	—	—	4.0	—	—	4.2	4.2	4.3	4.3	—	5.0	5.0	5.0
Q4 授業中の課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか。	—	4.8	—	—	—	4.0	—	—	3.9	4.0	4.3	4.3	—	5.0	5.0	5.0
Q5 この授業は総合的にみて満足度は高かったですか。	—	4.4	—	—	—	4.0	—	—	4.1	4.0	4.1	4.1	—	5.0	4.8	4.8
Q6 授業時間外の学修（予習・復習・課題等）をシラバスどおりに実施しましたか。	—	4.4	—	—	—	4.0	—	—	3.9	3.9	3.9	3.9	—	5.0	4.8	4.8
Q7 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間（オンタイム）外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか。 回答 5: 3時間以上, 4: 2～3時間, 3: 1～2時間, 2: 1時間未満, 1: 取り組んでいない	—	3.6	—	—	—	3.0	—	—	2.8	2.9	2.7	2.7	—	3.0	3.5	3.5
Q8 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）。 回答 5: 文献資料を閲覧・借りた, 4: 予習・復習をした, 3: レファレンスサービスを利用した, 2: 相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した, 1: 全く利用していない																
Q9 この授業科目の内容に関して、担当教員に対し質問等をしましたか。	—	2.8	—	—	—	4.0	—	—	3.1	3.1	3.2	3.2	—	5.0	4.3	4.3
Q10 この授業科目の内容に関して、学生間で意見交換や議論はできましたか。	—	2.8	—	—	—	4.0	—	—	3.8	3.6	3.7	3.7	—	5.0	4.5	4.5

II 実験・実習科目

Q1 授業はシラバスに沿って行われましたか。	—	5.0	—	—	—	4.8	—	—	4.2	4.4	4.6	4.6	—	5.0	—	—
Q2 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	5.0	—	—	—	4.8	—	—	4.2	4.1	4.5	4.5	—	4.0	—	—
Q3 講義動画・資料は、適切でしたか。	—	5.0	—	—	—	4.8	—	—	4.1	4.1	4.5	4.5	—	4.0	—	—
Q4 授業中の課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか。	—	5.0	—	—	—	4.8	—	—	4.3	4.1	3.6	3.6	—	4.0	—	—
Q5 この授業は総合的にみて満足度は高かったですか。	—	5.0	—	—	—	4.8	—	—	4.2	3.9	4.2	4.2	—	4.0	—	—
Q6 授業時間外の学修（予習・復習・課題等）をシラバスどおりに実施しましたか。	—	5.0	—	—	—	4.8	—	—	4.1	4.1	4.3	4.3	—	4.0	—	—
Q7 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間（オンタイム）外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか。 回答 5: 3時間以上, 4: 2～3時間, 3: 1～2時間, 2: 1時間未満, 1: 取り組んでいない	—	4.0	—	—	—	4.0	—	—	4.2	3.8	3.9	3.9	—	5.0	—	—
Q8 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）。 回答 5: 文献資料を閲覧・借りた, 4: 予習・復習をした, 3: レファレンスサービスを利用した, 2: 相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した, 1: 全く利用していない																
Q9 この授業科目の内容に関して、担当教員に対し質問等をしましたか。	—	3.0	—	—	—	2.8	—	—	3.9	3.8	4.0	4.0	—	4.0	—	—
Q10 この授業科目の内容に関して、学生間で意見交換や議論はできましたか。	—	2.8	—	—	—	2.8	—	—	4.1	4.2	4.3	4.3	—	4.0	—	—

※1 表の数字は学生が評価した各選択肢の平均値。ただし、Q8については、質問の性格上（図書館の利用状況についてのため）、科目区分ごとの回答率（複数回答可）を公表しております。

※2 「I 講義・演習科目」及び「II 実験・実習科目」の質問内容は同一です。

※3 「—」の表記は、該当科目がないことを意味します。

※4 各履修期及び授業区分において、延べ回答者数が5名未満の場合は、集計結果を公表していません。

令和5年度後学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果の分析・コメント

1 建築・生活デザイン学科

【講義・演習科目】

おおむね昨年度と同様の結果を示している。総合的な満足度に関わるQ5は微増となっているが、Q4, Q6, Q7の数値も考え合わせると、引き続き継続的な改善の取り組みが必要であろう。Q9, Q10については大きく上昇しており、学生が主体的・積極的に学修に取り組んでいることが見て取れる。

【実験・実習科目】

Q1からQ7まで、いずれの設問も4点台の結果となっており、満足度の高い実質的な授業の運用が行われたことが推定できる。学生が積極的に学修に取り組んでいることは、Q9, Q10の数値が大きく上昇していることから見て取れる。

3 短大一般教育

【講義・演習科目】

受講生は授業に関してQ1からQ5までは4点台と満足していると見ることができる。また、3点台のQ6については、4点台に到達するようもう少し改善を促す必要がある。特に、2点台のQ7は学生の予習、復習の時間を増やすには、教員側による自宅学習の課題等の工夫や促しによりある程度の改善は見込まれる。Q9が3点台前半に留まっているのは、教員に尋ねてくる学生があまり多くないことが窺える。また、Q10が3点後半にあるのは、学生同士で授業時間外学修に取り組んでいると考えられる。Q9, Q10を4点台に改善するためには、学生同士あるいは教員と学生間で、授業時間外においてもやり取りが可能なLMSなどを積極的に活用していくなど、対策を講じることが重要である。

【実験・実習科目】

概ね学生は満足していると見ることができる。3点台半ばのQ4の学生への評価や講評等のフィードバックについては、昨年度より改善されているが、更なる工夫が必要である。3点台後半のQ7は学生への課題に手を加えるなど少しの工夫で4点台に改善する方向に向かうと思われる。

2 ものづくり・サイエンス総合学科

【講義・演習科目】

Q1～Q6に関しては概ね4.0以上であり、授業は良好と評価できる。しかしながら、Q6の授業のシラバスどおりに実施については、授業内容(評価や講評などを含む)について検証する必要がある。

【実験・実習科目】

Q1～Q6まで概ね4.0以上であり、授業内容は良好なものになっている。Q7の学生の学修時間について、昨年比で変わらずのため、工夫が必要となる

「講義・演習科目」「実験・実習科目」共に、対面学修が増えており、担当教員への質問や学生同士の共同学修について大きく伸びた。対面学修の方が学修効果が高いものと評価できる。